

# この街の現在

し ま

Curation by Kenji Tsukagoshi

観覧時間=10時~17時

休館日=月曜日、第2木曜日

観覧料=無料

協力=偕成社、河出書房新社、  
佼成出版社、講談社、コルク、小学館、  
祥伝社、文藝春秋、リトルモア

会場=町田市民文学館ことばらんど

- 西村賢太
- 阿部和重
- 戌井昭人
- 新井洋行
- 道尾秀介
- 三浦しをん
- 中垣ゆたか
- 村田沙耶香
- 畑野智美
- 浅野いにお



ゼ  
ロ  
年  
代  
の  
町  
田  
若  
手  
作  
家  
た  
ち  
展

2016.4.16 SAT — 6.26 SUN

町田市民文学館ことばらんど



駅ビルを中心に大手フランチャイズ店舗が街を埋め尽くし、どこでも同じような風景と化していく「郊外化」現象は、2000年代に入りますます進行している。同じような店舗、同じような駅前広場、均質であるが故に匿名的で、息の詰まる街。都市でも地方でもなく、特色を見いだすことが難しいと呼ばれる郊外化の典型例として、町田が数えられることも多い。

しかし、郊外都市としての町田は本当に均質で無味無臭な街なのだろうか？ 新旧様々な町田の歴史が有してきた「ごちゃまぜ」の魅力は、時に郊外化に抗うように、そして寄り添うように町田を発展させてきた。本展はこのごちゃまぜの創造力を、町田に縁のある若手作家の作品から浮かび上がらせることを目的とする。

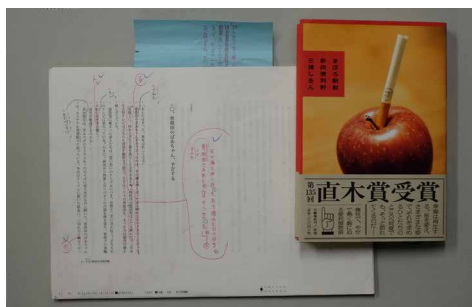
ゼロ年代から現在に至るまでの町田、および郊外化の変化を直視し、作品を生み出してきた作家の営みを参照することは、郊外の現代、そして町田の未来を深く考えることにつながるはずだ。

(塚越健司)

●ゲストキュレーター

塚越健司(1984-)

コンピュータやハッカーをはじめとした情報社会学、最新の社会事情を社会学の観点から研究する気鋭の研究者である一方、TBS RADIO「文化系トークラジオLife」や「荒川強啓デイ・キャッチ！」(火曜ニュースクリップ担当)等にレギュラー出演。若手文化人として多くの人々と交流を持つとともに、サブカルチャー、若者の心理まで幅広い分野にわたって造詣が深い。著書に『ハクティブズムとは何か』(ソフトバンク新書)。共著に東浩紀監修『角川インターネット講座(12)開かれる国家 境界なき時代の法と政治』(角川学芸出版)など多数。



三浦しをん『まほろ駅前多田便利軒』(文藝春秋 2006)と校正原稿



浅野いにお『ソラニン』(小学館 2006)



中垣ゆたか『ごちゃまぜ』(佼成出版社 2014)原画

関連イベント ※会場は全て、町田市民文学館2階大会議室です。

●オープニングイベント

塚越健司「ごちゃまぜの街の魅力を語ろう！」

講師：塚越健司

ゲスト：劇団マチャダクス

日時：4月16日(土)午後2時から4時

定員：70名(申込順)

申込：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で

3月23日(水)正午から受付

●記念対談

①海猫沢めろん(作家)×塚越健司

「若手作家の描く町田には何があるのか？」

日時：5月14日(土)午後2時から4時

定員：70名(申込順)

申込：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で

4月11日(月)正午から受付

②三浦しをん(作家)×塚越健司

「文学は町田をどう描くのか」

日時：6月18日(土)午後2時から4時

定員：70名(申込順)

申込：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で

5月21日(土)正午から受付

●映画鑑賞会&トークセッション

※映画終了後、塚越健司の司会で、ご参加の皆様と感想を語り合います。

①『ソラニン』

日時：5月28日(土)午後1時30分から4時

定員：70名(申込順)

申込：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で

4月11日(月)正午から受付

②『まほろ駅前多田便利軒』

日時：6月11日(土)午後1時30分から4時

定員：70名(申込順)

申込：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で

5月21日(土)正午から受付

■ギャラリートーク(展示解説)

※直接、2階展示室にお越しください。

日時：4月26日(火)、5月10日(火)、6月14日(火)、

6月26日(日)午後2時から(40分程度)

申込：不要



町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL:042-739-3420

・JR横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分

・小田急線「町田駅」東口から徒歩12分